

お客様各位

株式会社セゾン情報システムズ  
HULFT 事業部

## **HULFT BB クライアント/ HULFT BB サーバ・オプション接続ライセンス 販売およびサポートサービス終了のお知らせ**

当社製品『HULFT BB クライアント』および『HULFT BB サーバ・オプション接続ライセンス』につきまして、下記の通り販売および技術サポートサービスを終了させていただくことになりました。弊社では今後とも価値のある HULFT ソフトウェア群の拡充に努めてまいりますので、引き続きご愛顧賜りますよう、お願い申し上げます。

### **記**

#### **1.販売終了日**

##### **■ライセンス**

2014年3月31日

- ・上記日付の当社注文受付分をもって販売終了となります。

##### **■技術サポートサービス（サポートパック（1年）および契約保守）**

2015年3月31日

- ・2015年4月1日がサポート開始日となるご注文をもって、販売終了となります。

※2015年4月2日以降に、更新時期を迎えたサポート契約（サポートパックおよび契約保守）は、それ以降の更新ができませんのでご注意ください。

※サポートパック（3年・5年）は、新規販売を終了しております。

#### **2.技術サポートサービス提供終了日**

2016年3月31日

#### **3.販売終了製品**

- ・ HULFT BB クライアント for Windows Type BB1 Ver.6
- ・ HULFT BB クライアント for Windows Type BB2 Ver.6
  
- ・ HULFT BB サーバ・オプション HTTP接続ライセンス for Windows Ver.6
- ・ HULFT BB サーバ・オプション HT接続ライセンス for Windows Ver.6

#### 4.代替推奨製品

利用している転送機能によって、代替製品が異なりますので、下記内容をご確認の上、ご検討ください。

- ・ HTTP転送をご利用のお客様  
→『**HULFT クラウド**』のご利用をご検討ください。
- ・ 全銀TCP/IP転送をご利用のお客様  
→弊社製品では、ご用意がございません。

恐れ入りますが、同様の機能を持つ製品インターコム社 『Biware全銀TCPクライアント』のご利用をご検討ください。

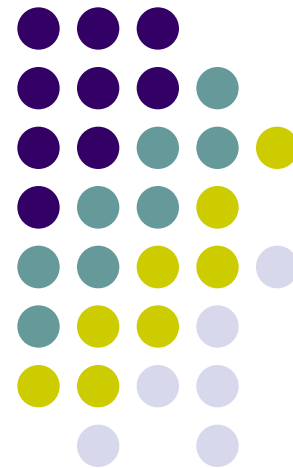
- ・ 上記以外の転送（HULFT BB標準転送）をご利用のお客様  
→『**HULFT**』をご利用ください。  
詳しくは「別紙①移行時の注意点」および「別紙②移行手順」を参照してください。

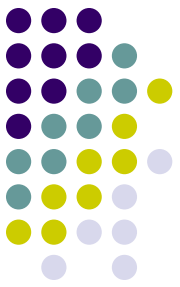
ご不明な点は弊社担当営業までお問い合わせください。

以上

# HULFTBBからHULFT7 移行時の注意事項について

セゾン情報システムズ  
HULFT事業部





## 移行時の注意点サマリー

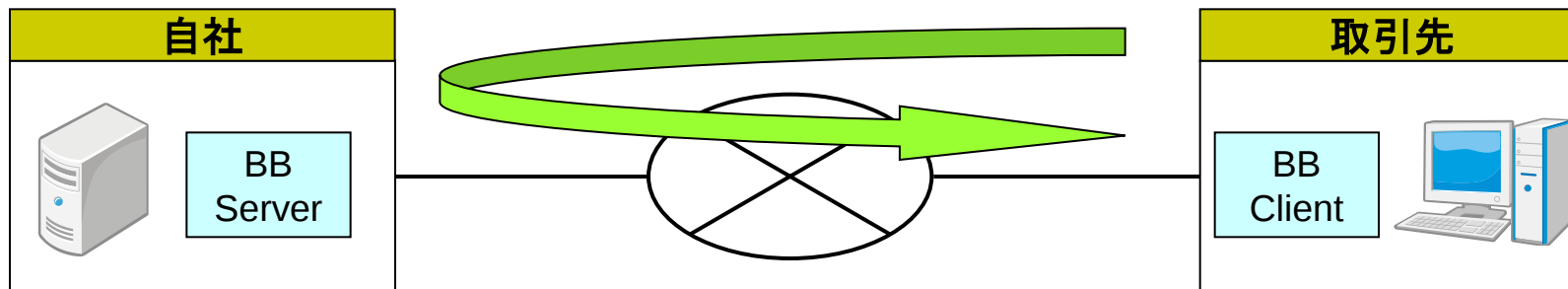
1. 両拠点にて名前解決やFirewall設定の変更が必要です
2. 暗号化機能を使用する場合は事前に設定が必要です
3. 配信多重度の設定変更が必要になる場合があります
4. メールボックス蓄積機能やHTTP(全銀)転送機能は別製品にて代替できる場合があります
5. BB環境からHULFT7への移行手順について

# 両拠点にて名前解決やFirewall設定変更が必要です



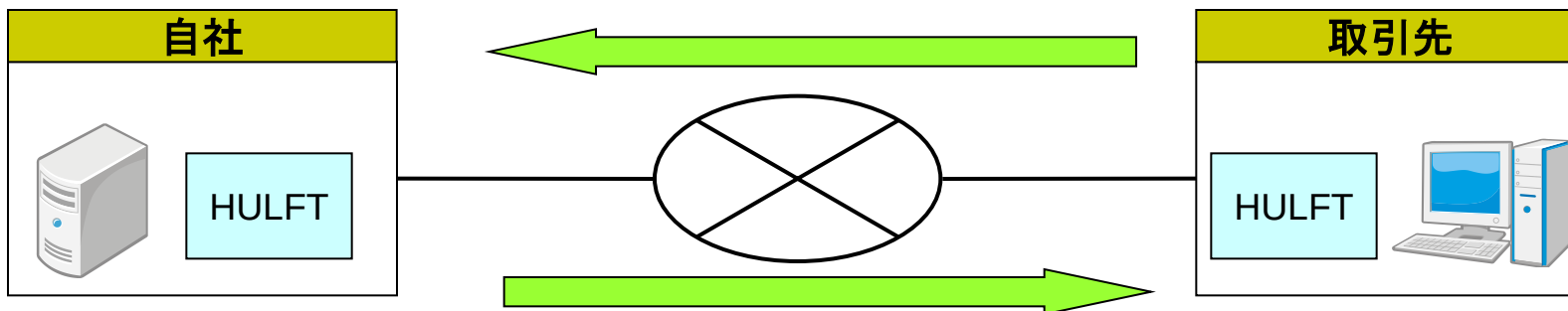
## BB通信の場合

通信ポート1つ(BBポート)で処理するため取引先から名前解決ができれば通信可能です。(送信要求時)



## HULFT通信の場合

通信ポート2つ(要求受付ポート、集信ポート)で処理するため、自社と取引先の両拠点にて名前解決ができれば通信可能です。(送信要求時)



**影響範囲: BBクライアント側 / BBサーバ側**

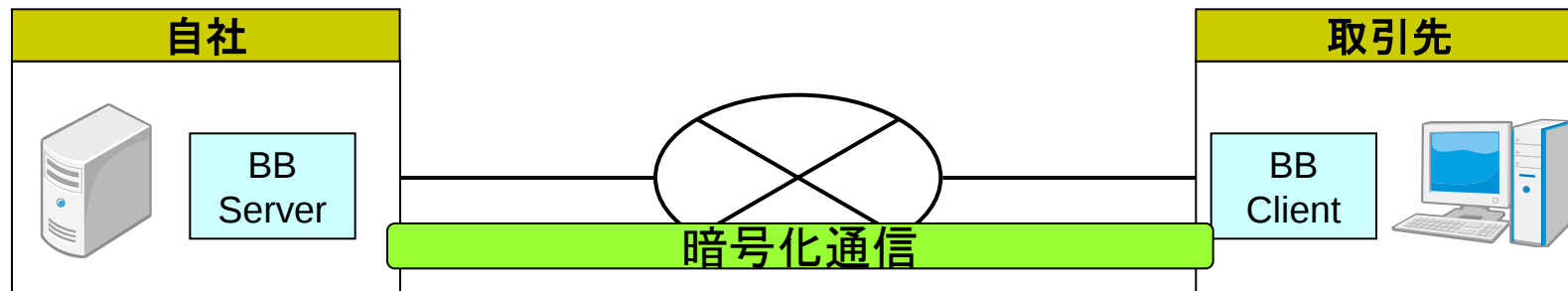
- ・取引先はIPが固定であり自社はhostファイルやDNSなどで名前解決が必要です。
- ・要求受付ポート、集信ポートが使用できるようにFirewallの設定変更が必要です。

# 暗号化機能を使用する場合は事前に設定が必要です



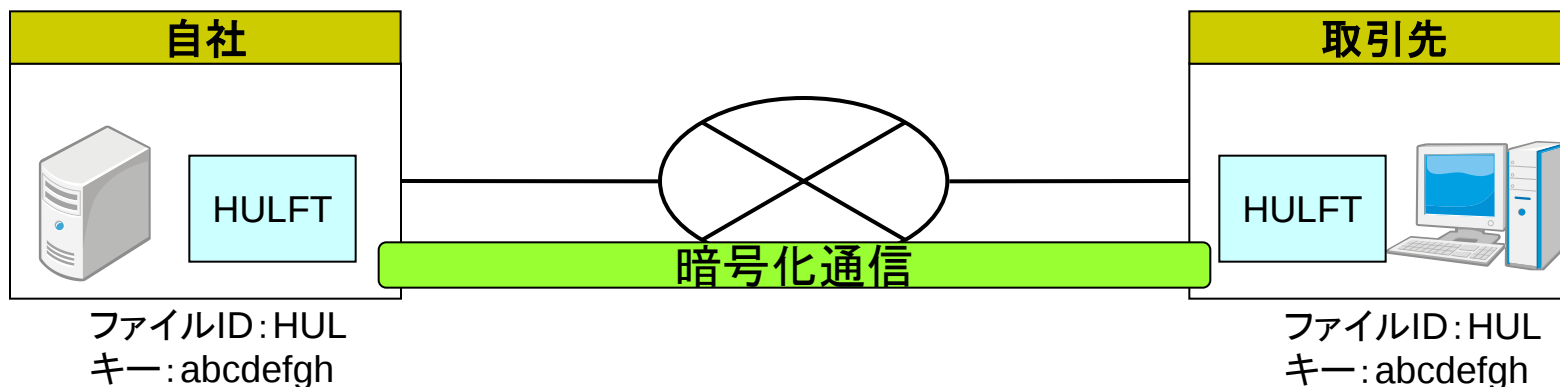
## BB通信の場合

システム管理情報にて自動暗号化 (autocipher) が「YES」の場合、暗号キーの設定は必要ありません。



## HULFT通信の場合

ファイルID単位にて集配信管理情報の暗号キーを事前に設定しておくことで通信が暗号化されます。



**影響範囲: BBクライアント側 / BBサーバ側**

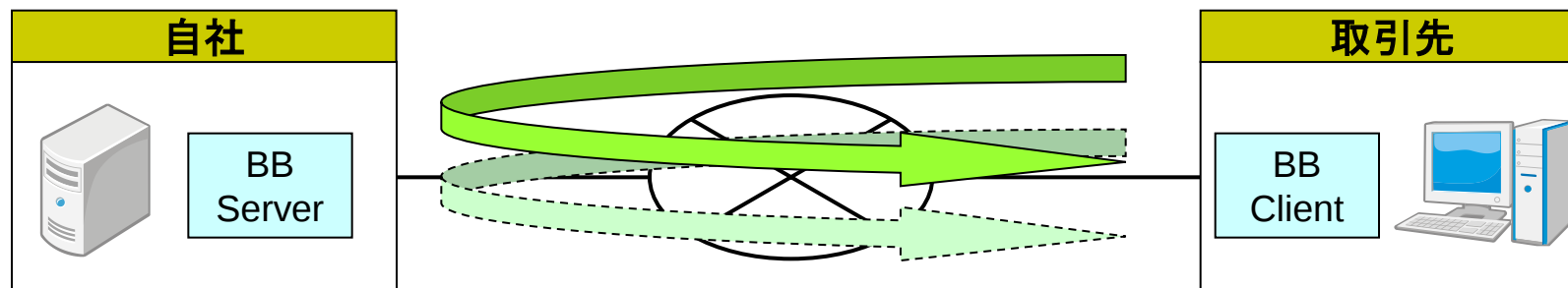
- ・事前に自社と取引先にて暗号キーを決めておく必要があります。  
(暗号セキュリティ強度はどちらも同じ強度になります。)

# 配信多重度の設定変更が必要になる場合があります。



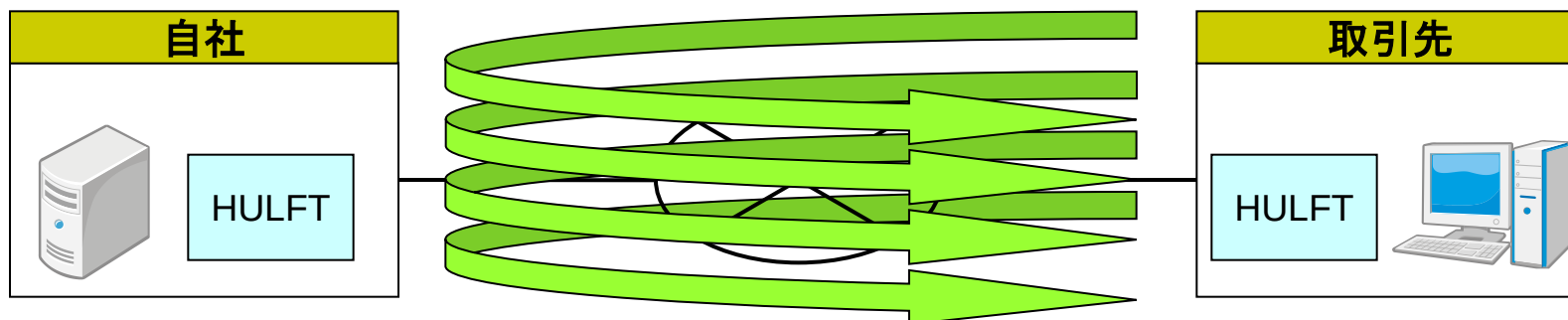
## BB通信の場合

配信多重度の初期値が「1」のため取引先1環境につき1転送が基本となります。1転送が終わるまで次の転送は待機状態となります。



## HULFT通信の場合

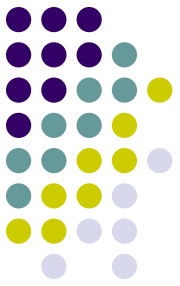
配信多重度の初期値が「10」のため取引先1環境につき同時10転送まで可能となります。その場合、受け側は集信多重度(デフォルト:999)を超えると多重度エラーになる場合があります。



**影響範囲: BBクライアント側**

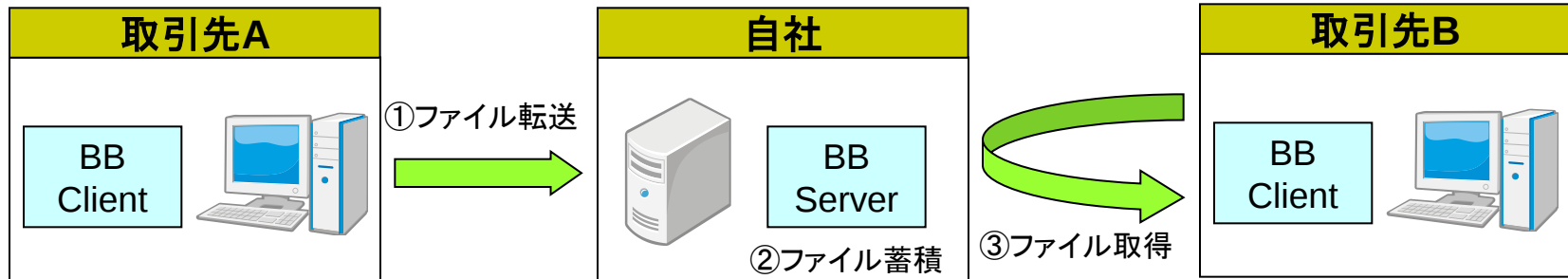
**・BB通信と同じ動作にする場合は配信多重度を「1」に変更する必要があります。**

# メールボックス蓄積機能やHTTP(全銀)転送機能は別製品にて代替できる場合があります



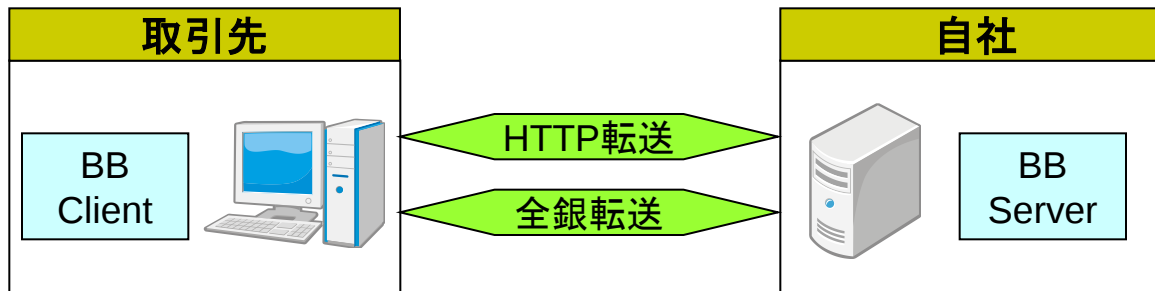
## BB通信の場合

### ・メールボックス機能



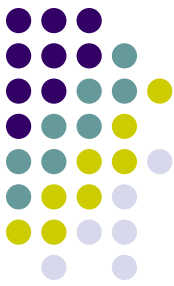
・メールボックス蓄積機能は弊社別製品にて代替できる場合があります。

### ・HTTP(全銀)転送機能



・HTTP転送機能についてはHULFTクラウドにて代替できる場合があります。

・全銀について他社製品(株式会社インターコムの「Biware」)をご検討ください。



# BB環境からHULFT7への移行手順について

移行手順詳細につきましては別途資料「BB製品からHULFT7への移行手順書.pdf」をご確認ください。  
以下については移行手順の概要になります。

## ○BBクライアント側の移行および設定について

1. HULFT7の新規インストールをおこないます。
2. 管理情報コンバートコマンド(hulconv)を実行し、管理情報のコンバート(※1)をおこないます。
3. 接続先サーバの詳細ホスト情報の再登録をおこないます。
4. 暗号キーの設定をおこないます。(※2)
5. 配信多重度の設定変更をおこないます。(※2)

## ○BBサーバ側の設定について

1. HULFT7へ移行するBBクライアントの詳細ホスト情報について接続形態を「LAN」に変更します。  
(移行する詳細ホスト情報が複数存在する場合は、コマンドを使用した登録も可能です。)
2. 暗号キーの設定をおこないます。(※2)

※1 以下の管理情報と履歴については引き継ぎをおこなうことができません。

- ・接続形態がBB Server(P) またはBB Client(C)の詳細ホスト情報
- ・接続形態がBB Server・BB Client・PPP 接続の配信履歴
- ・接続形態がBB Server・BB Client・PPP 接続の集信履歴
- ・通信手順が全銀(Z) またはHTTP(T) の配信後ジョブ実行履歴
- ・通信手順が全銀(Z) またはHTTP(T) の集信後ジョブ実行履歴

※2 必要な場合のみ設定を変更します。

## 影響範囲:BBクライアント側 / BBサーバ側

- ・詳細ホスト情報、集配信履歴、ジョブ履歴については引き継ぎをおこなうことができません。
- ・移行手順詳細については別途移行資料「BB製品からHULFT7への移行手順書.pdf」をご確認ください。

# BB 製品から HULFT7 for Windows への移行手順

## はじめに

本文書は、HULFT BB (PPP) クライアント for Windows (以下「BB クライアント」といいます) から HULFT7 for Windows (以下「HULFT7」といいます) への移行及び HULFT for Windows (WindowsNT) (以下「BB サーバ」といいます) の設定を行う際に、必要な手順を記載します。

## 対象製品

### ○BB クライアント

HULFT PPP クライアント Ver. 5.0.0 以降

HULFT BB (PPP) クライアント for Windows Ver. 6.0.0 以降

### ○BB サーバ

HULFT for WindowsNT Ver. 5.0.0 以降

HULFT6 for Windows Ver. 6.0.0 以降

## 対象となるお客様

BB クライアントから HULFT7 に移行されるお客様

## 移行手順概要

### ○BB クライアント側の移行および設定について

1. **HULFT7** の新規インストールをします。
2. 各種管理情報コンバートコマンド (**hulconv**) を実行し、管理情報のコンバートをします。
3. 接続先サーバの詳細ホスト情報の再登録をします。
4. 暗号キーの設定をおこないます。
5. 配信多重度の設定変更をおこないます。

### ○BB サーバ側の設定について

1. **HULFT7** へ移行する BB クライアントの詳細ホスト情報について接続形態を「**LAN**」に変更します。(移行する詳細ホスト情報が複数存在する場合は、コマンドを使用した登録も可能です。)
2. 暗号キーの設定をおこないます。

## 目次

|                                                                    |           |
|--------------------------------------------------------------------|-----------|
| <b>1. 移行手順詳細</b> .....                                             | <b>3</b>  |
| ○BB クライアント端末側の移行及び設定 .....                                         | 3         |
| (1) HULFT7 の新規インストールをします。 .....                                    | 3         |
| (2) BB クライアントから HULFT7 へ管理情報のコンバートをします。 .....                      | 3         |
| (3) HULFT7 に詳細ホスト情報の再登録をします。 .....                                 | 4         |
| (4) 暗号キーの設定をおこないます。 .....                                          | 6         |
| (5) 配信多重度の設定変更をおこないます。 .....                                       | 7         |
| ○BB サーバ側の設定 .....                                                  | 8         |
| (1) BB サーバ側の HULFT6 を起動します。 .....                                  | 8         |
| (2) 詳細ホスト情報の設定を修正します。 .....                                        | 8         |
| (3) 接続形態を「LAN」に変更にします.....                                         | 9         |
| (4) 暗号キーの設定をおこないます。 .....                                          | 10        |
| <b>付録 1. コマンドからの詳細ホスト情報の登録手順&lt;HULFT7(元 BB クライアント側)&gt;</b> ..... | <b>11</b> |
| (1) パラメータファイルの生成をします。 .....                                        | 11        |
| (2) 詳細ホスト情報パラメータファイルの編集をします。 .....                                 | 11        |
| (3) 修正した詳細ホスト情報パラメータファイルの登録をします。 .....                             | 14        |
| <b>付録 2. コマンドからの詳細ホスト情報の登録手順&lt;HULFT6(元 BB サーバ側)&gt;</b> .....    | <b>15</b> |
| (1) パラメータファイルの生成をします。 .....                                        | 15        |
| (2) 詳細ホスト情報パラメータファイルの編集をします。 .....                                 | 15        |
| (3) 修正した詳細ホスト情報パラメータファイルの登録をします。 .....                             | 16        |

## 1. 移行手順詳細

○BB クライアント端末側の移行及び設定

### (1) HULFT7 の新規インストールをします。

導入済みである BB クライアントとは別に HULFT7 の新規インストールをします。

※新規インストール手順については「HULFT7 Windows 導入マニュアル」の「2.1 HULFT のインストール」を参照してください。

### (2) BB クライアントから HULFT7 へ管理情報のコンバートをします。

① コマンドプロンプトを起動し、(1) でインストールを行った HULFT7 のインストールフォルダ (binnt) に移動します。

② 各種管理情報コンバートコマンド(hulconv)を使用し、導入済みの BB クライアントから HULFT7 へ管理情報の移行をします。

※1 各種管理情報コンバートコマンドの詳細については各製品のマニュアルを参照してください。

※2 各種管理情報コンバートコマンドを実行しても以下の管理情報と履歴は移行することはできません。

- ・接続形態が BB Server (P) または BB Client (C) の詳細ホスト情報
- ・接続形態が BB Server ・ BB Client ・ PPP 接続の配信履歴
- ・接続形態が BB Server ・ BB Client ・ PPP 接続の集信履
- ・通信手順が全銀 (Z) または HTTP (T) の配信後ジョブ実行履歴
- ・通信手順が全銀 (Z) または HTTP (T) の集信後ジョブ実行履歴

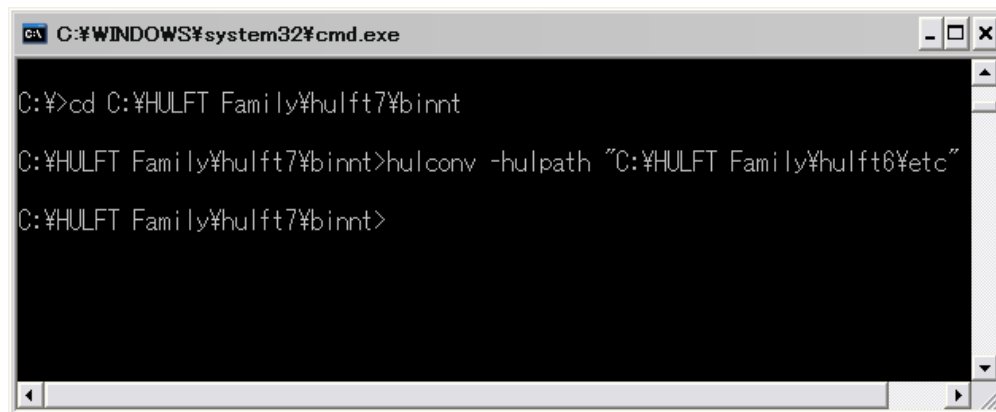


図 1-1-1 各種管理情報コンバートコマンド実行例

③ 各種管理情報が移行できているか確認をおこなってください。

(3) HULFT7 に詳細ホスト情報の再登録をします。

- ① HULFT7 の管理画面を起動します。
- ② 管理画面の[システム管理(M)]－[詳細ホスト情報(H)]メニューを選択します。

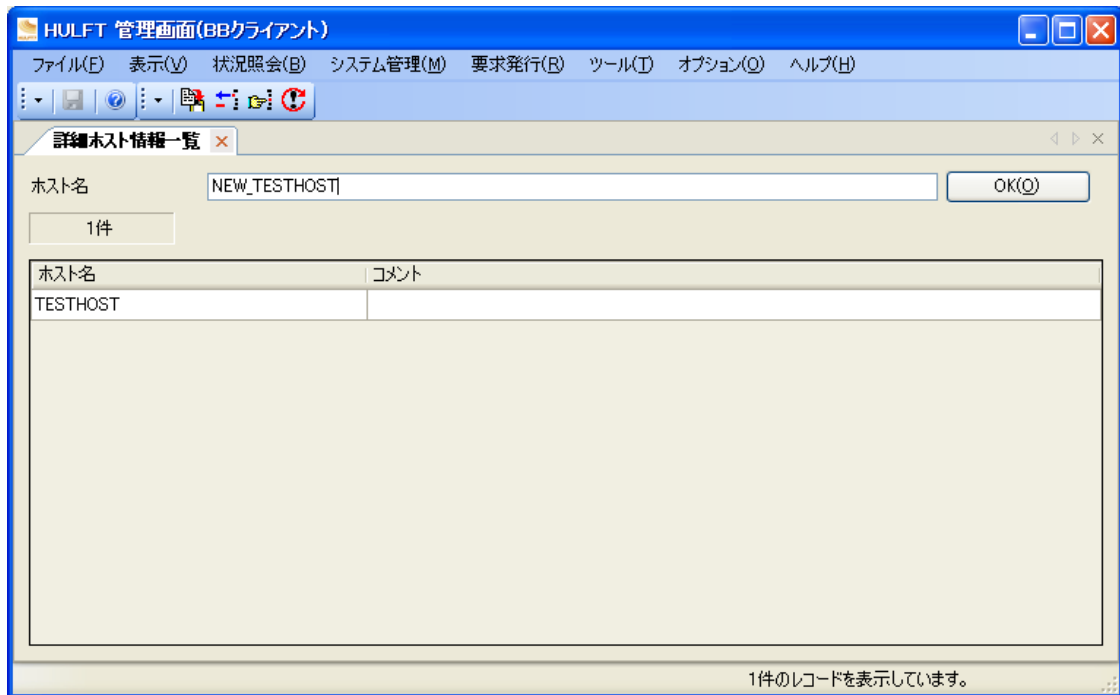


図 1-1-2 HULFT7 の詳細ホスト情報一覧画面

- ③ 詳細ホスト情報を新規に登録します。この際「集信ポート No.」と「要求受付ポート No.」は接続先ホストに合わせて設定します。

※コマンドから設定を変更する場合は「付録 1. コマンドからの詳細ホスト情報の登録手順＜HULFT7(元 BB クライアント側)＞」を参照してください。

The screenshot shows the 'HULFT 管理画面(BBクライアント)' window. The '詳細ホスト情報更新(NEW\_TESTHOST)' tab is active. The 'ホスト名' field contains 'NEW\_TESTHOST'. The '基本設定' tab is selected, and the '集信ポートNo.' and '要求受付ポートNo.' fields are highlighted with red boxes. The '集信ポートNo.' field contains '30000' and the '要求受付ポートNo.' field contains '31000'. Other fields include 'ホスト種' (WindowsNT), '漢字コード種' (SHIFT-JIS), 'ホスト別配信多重度' (0), 'JIS年度' (83JIS), and '接続形態' (LAN).

| 項目         | 値            |
|------------|--------------|
| ホスト名       | NEW_TESTHOST |
| ホスト種       | WindowsNT    |
| 漢字コード種     | SHIFT-JIS    |
| 集信ポートNo.   | 30000        |
| 要求受付ポートNo. | 31000        |
| ホスト別配信多重度  | 0            |
| JIS年度      | 83JIS        |
| 接続形態       | LAN          |

図 1-1-3 HULFT7 の詳細ホスト情報更新画面

(4) 暗号キーの設定をおこないます。

※暗号化をおこなわない場合は設定の必要はありません。

集配信管理情報の拡張設定内における「暗号キー」にキーを入力してください。

詳細については「HULFT7 Windows オペレーション・マニュアル」の「3.5.2 配信管理情報の一覧表示と更新」を参照してください。

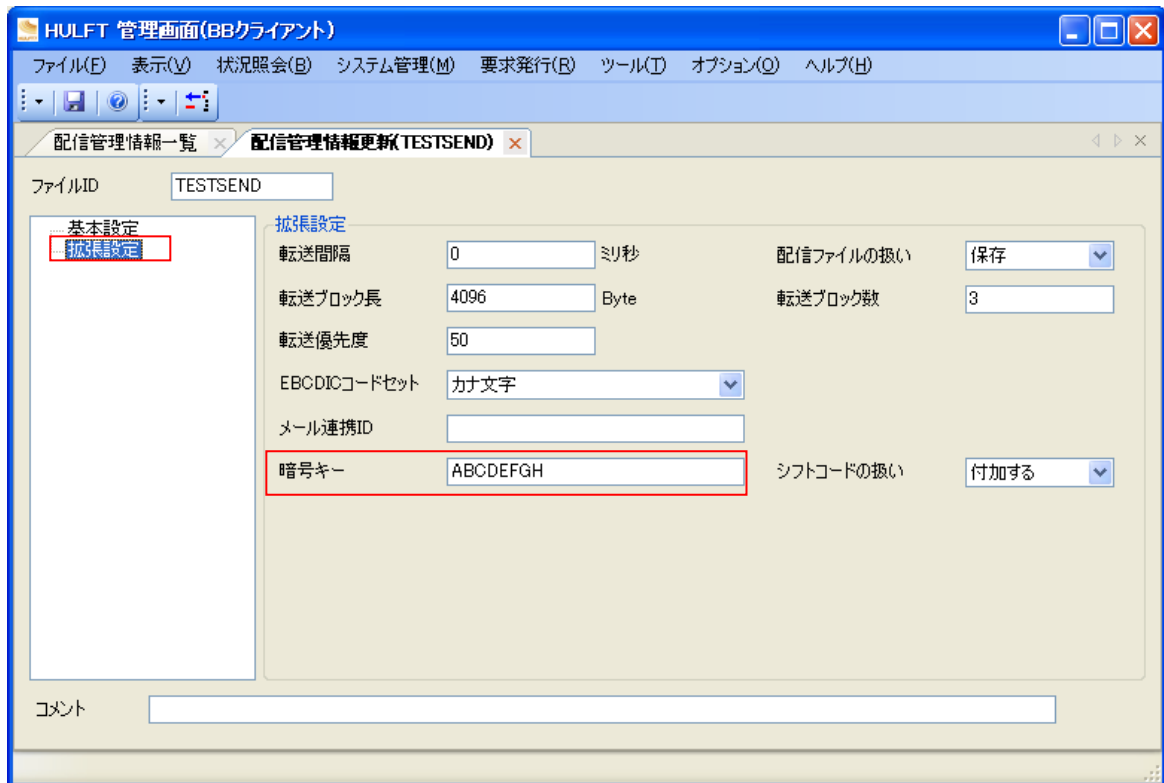


図 1-1-4 HULFT7 の配信管理情報更新画面

(5) 配信多重度の設定変更をおこないます。

※BB クライアントと設定を合わせない場合は設定の必要はありません。

システム動作環境設定の基本設定内における「配信多重度」に「1」を入力し HULFT を再起動してください。

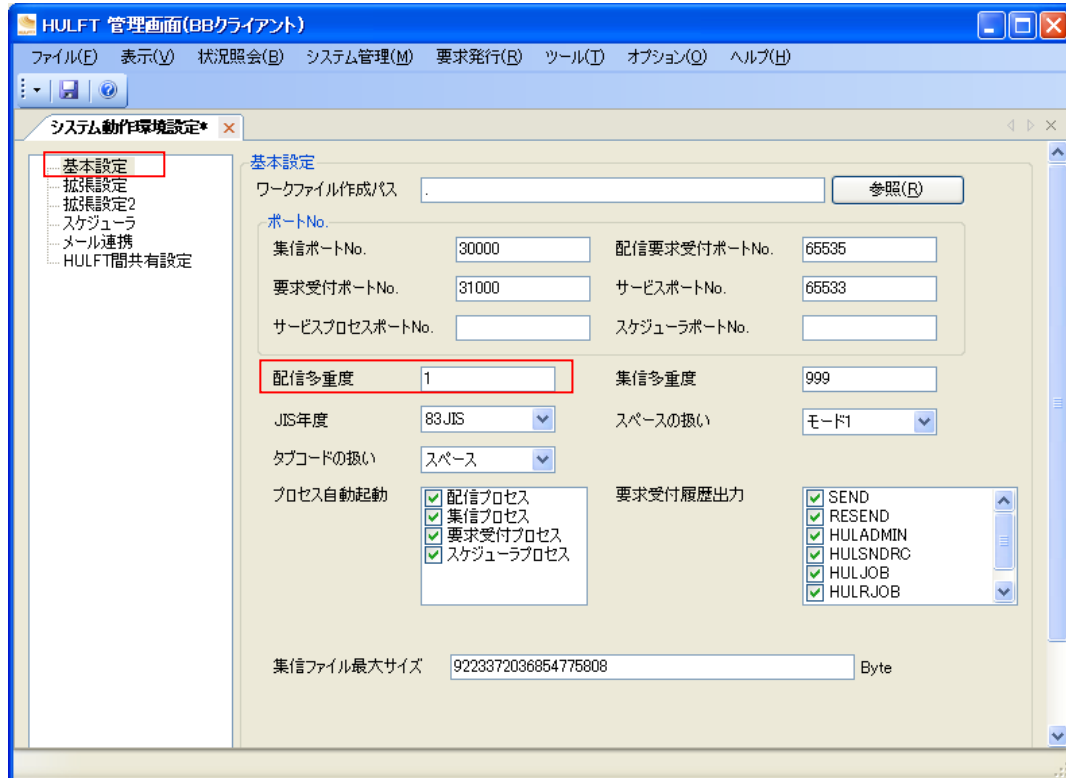


図 1-1-5 HULFT7 の詳細ホスト情報一覧画面

○BB サーバ側の設定

(1) BB サーバ側の HULFT6 を起動します。

(2) 詳細ホスト情報の設定を修正します。

管理画面の[システム管理(M)]－[詳細ホスト情報(H)]メニューを選択します。

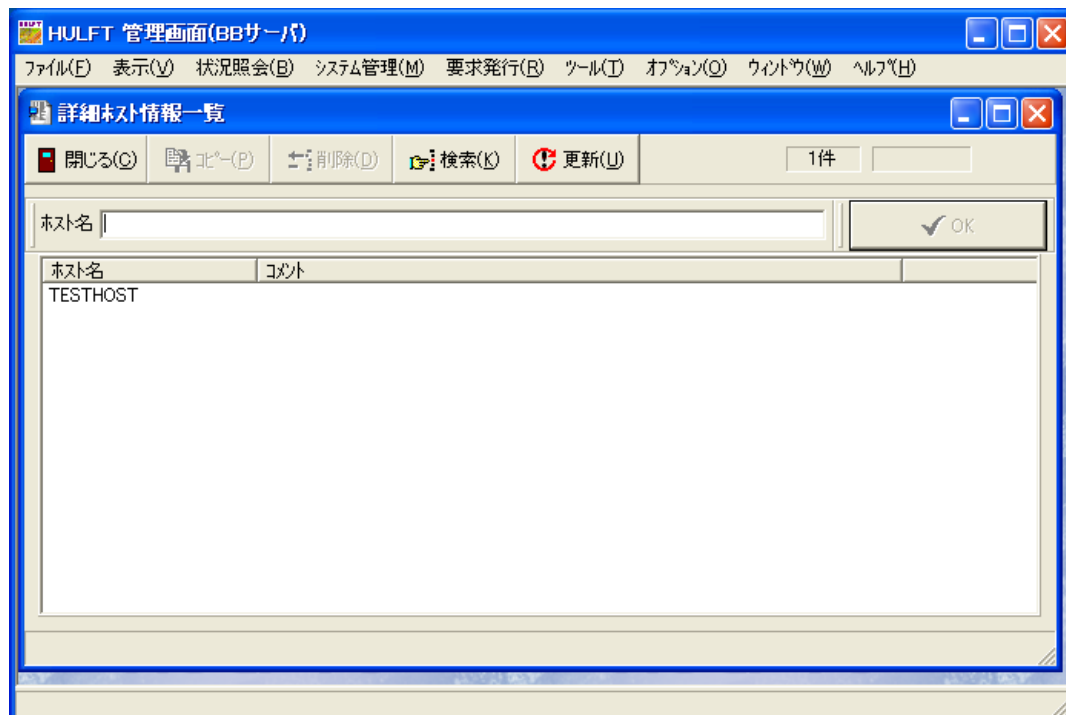


図 1-2-1 HULFT6 の詳細ホスト情報一覧画面

(3) 接続形態を「LAN」に変更にします

BB クライアントから HULFT7 に移行した詳細ホスト情報の接続形態を「LAN」に変更し、接続先ホストの「集信ポート No.」と「要求受付ポート No.」設定をします。

※コマンドから設定を変更する場合は「付録 2. コマンドからの詳細ホスト情報の登録手順＜HULFT6(元 BB サーバ側)＞」を参照してください。

The screenshot shows a Windows-style application window titled 'HULFT 管理画面(BBサーバ)'. Inside, there's a sub-window titled '詳細ホスト情報更新'. The '基本設定' (Basic Settings) tab is active. The 'インターネット' (Internet) sub-tab is selected. The 'ホスト名' (Host Name) is 'TESTHOST'. The 'ホスト種' (Host Type) is 'WindowsNT'. The '漢字コード種' (Kanji Code Type) is 'SHIFT-JIS'. The '集信ポートNo.' (Collection Port No.) is '30000' and the '要求受付ポートNo.' (Request Reception Port No.) is '31000'. The '接続形態' (Connection Type) is 'LAN'. The 'JIS年度' (JIS Year) is '83JIS'. The '通信手順' (Communication Procedure) is 'HULFT'. The 'コメント' (Comment) field is empty.

図 1-2-2 HULFT6 の詳細ホスト情報更新画面

(4) 暗号キーの設定をおこないます。

※暗号化をおこなわない場合は設定の必要はありません。

集配信管理情報の拡張設定内における「暗号キー」にキーを入力してください。

詳細については「HULFT Windows オペレーション・マニュアル」の「3.6.2 配信管理情報一覧および更新画面」を参照してください。

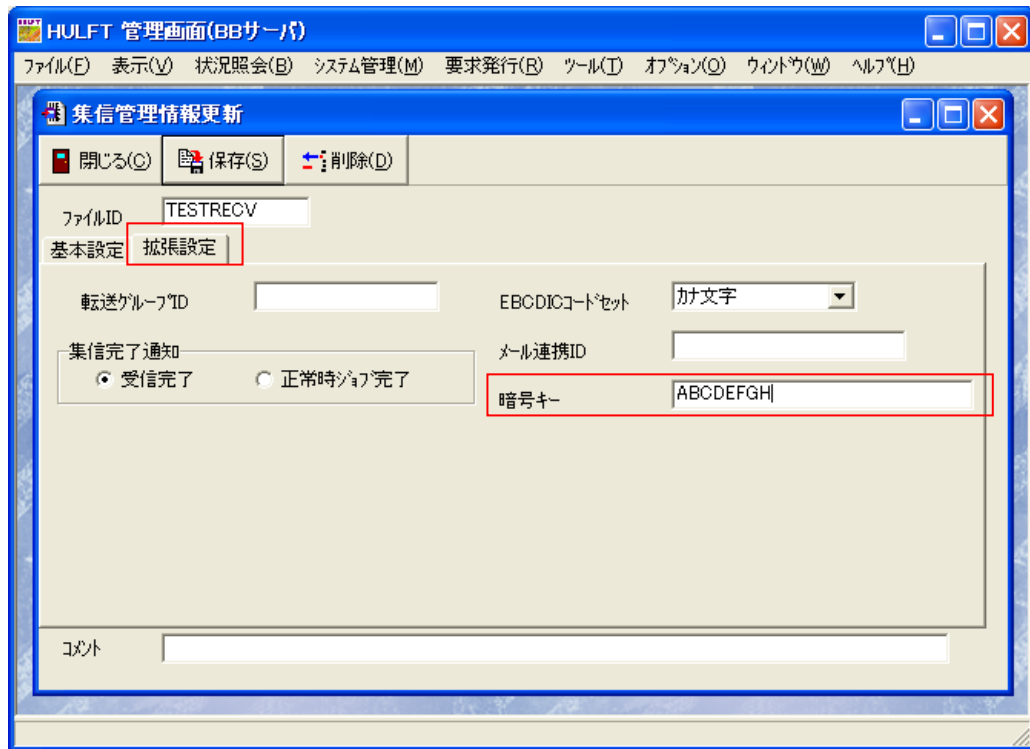


図 1-2-3 集信管理情報更新画面

以上で、BB サーバ側の設定は終了です。

付録 1. コマンドからの詳細ホスト情報の登録手順<HULFT7(元 BB クライアント側)>

(1) パラメータファイルの生成をします。

- ① コマンドプロンプトにて、BB クライアントのインストールフォルダ(binppp)に移動します。
- ② 管理情報パラメータファイル生成コマンド(utligen)を使用し、BB クライアントの詳細ホスト情報のパラメータファイルを生成します。

※1 各種管理情報コンバートコマンドの詳細については、各製品のマニュアルを参照してください。

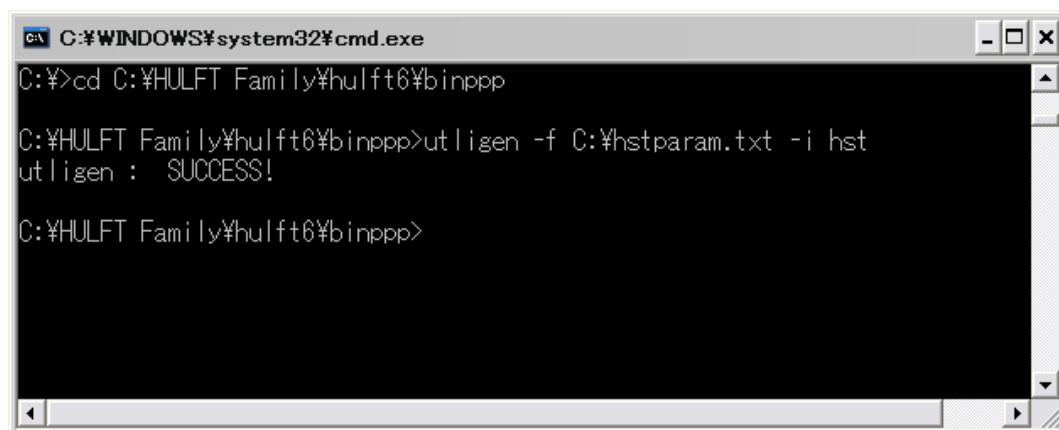


図 2-1-1 管理情報パラメータファイル生成コマンド実行例

(2) 詳細ホスト情報パラメータファイルの編集をします。

- ① (1)で生成した詳細ホスト情報パラメータファイルを「表 2-1-1 詳細ホスト情報パラメータファイル修正項目一覧」に従い修正をします。

表 2-1-1 詳細ホスト情報パラメータファイル修正項目一覧

| 項番 | 項目名               | 意味                    | 修正内容                        |
|----|-------------------|-----------------------|-----------------------------|
| 1  | CONNECTTYPE       | 接続形態                  | 値を'L'に変更<br>または省略可          |
| 2  | RCVPORT           | 集信ポート No.             | 項目追加<br>接続先ホストの集信ポート No. 設定 |
| 3  | REQPORT           | 要求受付ポート No.           | 接続先ホストの要求受付ポート No. を設定      |
| 4  | PPPEENTRY         | PPP 電話帳エントリ名          | 項目ごと削除                      |
| 5  | PPPTTELEPHONE1    | PPP 電話番号 1            | 項目ごと削除                      |
| 6  | PPPTTELEPHONE2    | PPP 電話番号 2            | 項目ごと削除                      |
| 7  | PPPTTELEPHONE3    | PPP 電話番号 3            | 項目ごと削除                      |
| 8  | PPPUUSERID        | PPP ユーザ ID            | 項目ごと削除                      |
| 9  | PPPPASSWORD       | PPP パスワード             | 項目ごと削除                      |
| 10 | PPPPORT           | BB ポート No.            | 項目ごと削除                      |
| 11 | PPPRECOUNT        | リダイヤル回数               | 項目ごと削除                      |
| 12 | PPPREINTVAL       | リダイヤル間隔               | 項目ごと削除                      |
| 13 | HTTPTRANSURL      | 転送先 URL               | 項目ごと削除                      |
| 14 | HTTPSIGNALGORITHM | HTTP Proxy サーバ名       | 項目ごと削除                      |
| 15 | HTTPSIGNATURE     | HTTP Proxy サーバポート No. | 項目ごと削除                      |
| 16 | HTTPPROXYNAME     | 拇印アルゴリズム              | 項目ごと削除                      |
| 17 | HTTPPROXYPORTNO   | 拇印                    | 項目ごと削除                      |
| 18 | HTTPPROXYUSRID    | Proxy 認証ユーザ ID        | 項目ごと削除                      |

| 項番 | 項目名              | 意味            | 修正内容   |
|----|------------------|---------------|--------|
| 19 | HTTPPROXYPASSWD  | Proxy 認証パスワード | 項目ごと削除 |
| 20 | MBOXRELAYSERVER  | 中継サーバ名        | 項目ごと削除 |
| 21 | MBOXPASSWD       | パスワード         | 項目ごと削除 |
| 22 | MBOXGETINTERVAL  | データ自動取得間隔     | 項目ごと削除 |
| 23 | MBOXCAPACITY     | メールボックス容量     | 項目ごと削除 |
| 24 | MBOXUSE          | メールボックス使用     | 項目ごと削除 |
| 25 | TRANSFERPROTOCOL | 通信手順          | 項目ごと削除 |
| 26 | ZGNPROTOCOL      | 接続形態区分        | 項目ごと削除 |
| 27 | ZGNC DKIND       | センタ確認コードの属性   | 項目ごと削除 |
| 28 | ZGNCODE1         | 相手センタ確認コード    | 項目ごと削除 |
| 29 | ZGNCODE2         | 当方センタ確認コード    | 項目ごと削除 |
| 30 | ZGNPASSWDREQ     | 電文パスワード：開局要求  | 項目ごと削除 |
| 31 | ZGNPASSWDOACK    | 電文パスワード：開局回答  | 項目ごと削除 |
| 32 | ZGNPASSWDCREQ    | 電文パスワード：閉局要求  | 項目ごと削除 |
| 33 | ZGNPASSWDCACK    | 電文パスワード：閉局回答  | 項目ごと削除 |
| 34 | ZGNTEXTL         | 最大伝送データ長      | 項目ごと削除 |
| 35 | ZGNTIMER         | 無通信監視タイマ      | 項目ごと削除 |
| 36 | ZGNBLKCNT        | 連続受信回数        | 項目ごと削除 |
| 37 | ZGNCYCLE         | 集配信通版の位置      | 項目ごと削除 |
| 38 | ZGN TIME         | 区切り時刻         | 項目ごと削除 |
| 39 | DEV1             | デバイス名         | 項目ごと削除 |
| 40 | DEV2             | デバイス名         | 項目ごと削除 |

※1 詳細ホスト情報パラメータの各項目の詳細については、各製品のマニュアルを参照してください。

※2 「表 2-1-1 詳細ホスト情報パラメータファイル修正項目一覧」には、導入されているオプションや設定によっては出力されていない項目があります。

```

#
# ID=TESTHOST
#

HOST=TESTHOST
HOSTTYPE=N
KCODETYPE=S
REQPORT=31000
COMMENT=
JISYEAR=1
CONNECTTYPE=P
YOURPROXYNAME=
PPENTRY=
PPTELEPHONE1=
PPTELEPHONE2=
PPTELEPHONE3=
PPUSERID=
PPPPASSWORD=
PPPPORT=32000
PPPRECOUNT=0
PPPREINTVAL=60
HTTPTRANSURL=https://
HTTPSIGALGORITHM=1
HTTPSIGNATURE=
HTTPPROXYNAME=
HTTPPROXYPORTNO=8080
HTTPPROXYUSRID=
HTTPPROXYPASSWD=
TRANSFERPROTOCOL=T
MBOXUSE=N
HOSTSPSNUM=0
END

```

図 2-1-2 詳細ホストパラメータファイル修正例 (HULFT7 登録用) (修正前)

```

#
# ID=TESTHOST
#

HOST=TESTHOST
HOSTTYPE=N
KCODETYPE=S
RCVPORT=30000
REQPORT=31000
COMMENT=
JISYEAR=1
CONNECTTYPE=L
YOURPROXYNAME=
HOSTSPSNUM=0
END

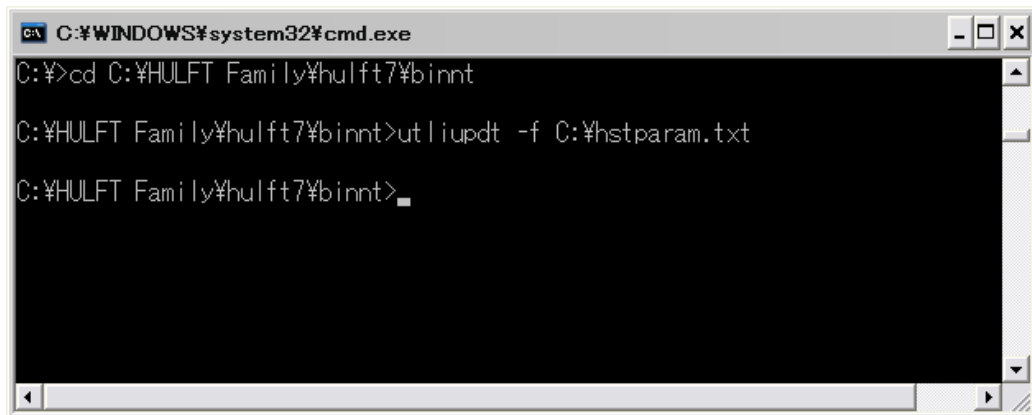
```

図 2-1-3 詳細ホストパラメータファイル修正例 (修正後)

(3) 修正した詳細ホスト情報パラメータファイルの登録をします。

- ① コマンドプロンプトを起動し、HULFT7(BB クライアントの移行先)のインストールフォルダ(binnt)に移動します。
- ② 管理情報バッチ登録コマンド(utliupdt)を使用し、修正した詳細ホスト情報パラメータファイルの登録をします。

※管理情報バッチ登録コマンドの詳細については各製品のマニュアルを参照してください。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
C:\>cd C:\HULFT Family\hulft7\binnt
C:\HULFT Family\hulft7\binnt>utliupdt -f C:\hstparam.txt
C:\HULFT Family\hulft7\binnt>
```

図 2-1-4 管理情報バッチ登録コマンド実行例

以上で、コマンドからの詳細ホスト情報の登録<HULFT7(元クライアント)>は終了です。

付録 2. コマンドからの詳細ホスト情報の登録手順<HULFT6(元 BB サーバ側)>

(1) パラメータファイルの生成をします。

- ① コマンドプロンプトにて、BB サーバのインストールフォルダ(binnt)に移動します。
- ② 管理情報パラメータファイル生成コマンド(utligen)を使用し、BB サーバの詳細ホスト情報のパラメータファイルを生成します。

※1 各種管理情報コンバートコマンドの詳細については、各製品のマニュアルを参照してください。



図 2-2-1 管理情報パラメータファイル生成コマンド実行例

(2) 詳細ホスト情報パラメータファイルの編集をします。

- ① (1)で生成した詳細ホスト情報パラメータファイルを「表 2-2-1 詳細ホスト情報パラメータファイル修正項目一覧」に従い修正をします。

※1 詳細ホスト情報パラメータの各項目の詳細については、各製品のマニュアルを参照してください。

表 2-2-1 詳細ホスト情報パラメータファイル修正項目一覧

| 項番 | 項目名         | 意味          | 修正内容                        |
|----|-------------|-------------|-----------------------------|
| 1  | CONNECTTYPE | 接続形態        | 値を'L'に変更<br>または省略可          |
| 2  | RCVPORT     | 集信ポート No.   | 項目追加<br>接続先ホストの集信ポート No. 設定 |
| 3  | REQPORT     | 要求受付ポート No. | 接続先ホストの要求受付ポート No. を設定      |

```
#
# ID=TESTHOST
#

HOST=TESTHOST
HOSTTYPE=N
KCODETYPE=S
REQPORT=31000
COMMENT=
JISYEAR=1
CONNECTTYPE=C
MYPROXYNAME=
YOURPROXYNAME=
TRANSFERPROTOCOL=H
MBOXUSE=Y
MBOXRELAYSERVER=
MBOXPASSWD=
END
```

図 2-2-2 詳細ホストパラメータファイル修正例 (修正前)

```
#
# ID=TESTHOST
#

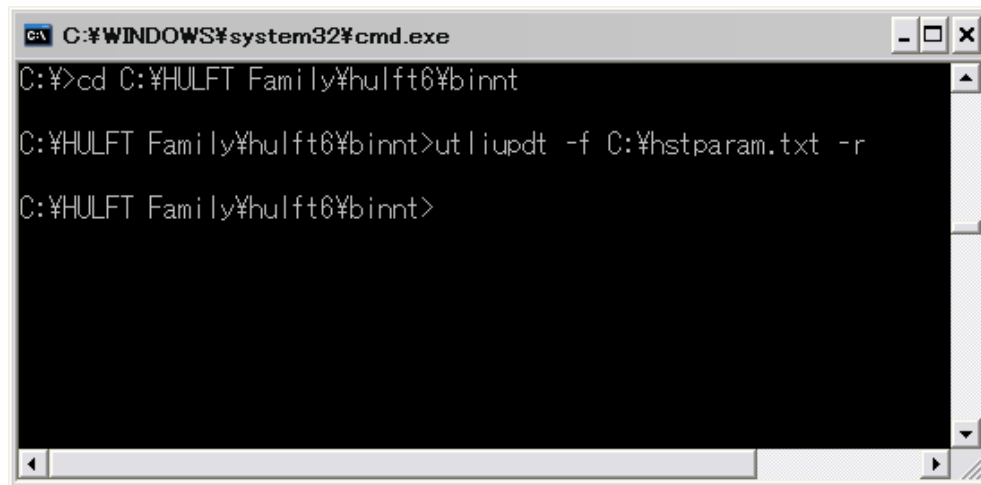
HOST=TESTHOST
HOSTTYPE=N
KCODETYPE=S
RCVPORT=30000
REQPORT=31000
COMMENT=
JISYEAR=1
CONNECTTYPE=L
MYPROXYNAME=
YOURPROXYNAME=
TRANSFERPROTOCOL=H
MBOXUSE=Y
MBOXRELAYSERVER=
MBOXPASSWD=
END
```

図 2-2-3 詳細ホストパラメータファイル修正例 (修正後)

(3) 修正した詳細ホスト情報パラメータファイルの登録をします。

- ① コマンドプロンプトを起動し、HULFT6(元 BB サーバ)のインストールフォルダに移動します。
- ② 管理情報バッチ登録コマンド(utliupdt)を使用し、修正した詳細ホスト情報パラメータファイルの登録をします。

※管理情報バッチ登録コマンドの詳細については各製品のマニュアルを参照してください。



```
C:\WINDOWS\system32\cmd.exe
C:\>cd C:\HULFT Family\hulft6\binnt
C:\HULFT Family\hulft6\binnt>utliupdt -f C:\hstparam.txt -r
C:\HULFT Family\hulft6\binnt>
```

図 2-2-4 管理情報バッチ登録コマンド実行例

以上で、コマンドからの詳細ホスト情報の登録<HULFT6(元 BB サーバ)>は終了です。

以上